

木を魅せるフォルム

木の特性を活かした架構形式により様々な建築表現を可能にします。

自由曲面

陸別小学校多目的ホール 2次曲面集成材格子梁



photo: 酒井広司



2次曲面集成材格子梁を用いた意匠が、エントランス・音楽ホール・図書コーナーの3つの空間をダイナミックに連続させています。集成材曲げ加工と異形棒鋼の直交接合により、自由な2次曲面形状の架構を可能にしています。

マッシュホルツ

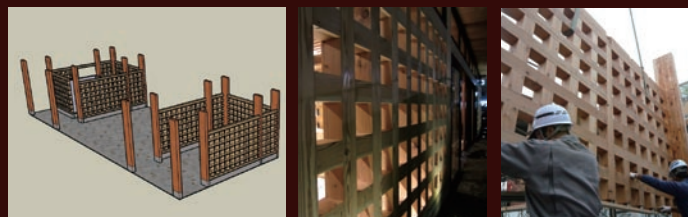
苫小牧信金まちなか交流館 道産カラマツイカダ屋根



道産カラマツを天井に互い違いに敷き詰め、力強さとリズムカルな印象を与え、トップライトから陽光を採り入れつつ時々刻々変化する影を足湯に落とします。優れた耐火・断熱・吸音性能などを有しつつ、フラットで力強い印象を空間に与えます。

面格子壁

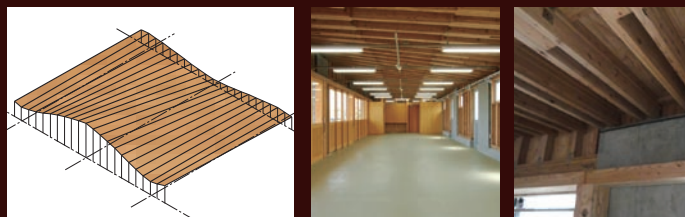
苫小牧信金まちなか交流館 道産カラマツ面格子耐震壁



面格子壁は「和」の雰囲気と力強さを醸し出すとともに、昼間は光を透過し夜間は道行く人々の暖かな灯りとなっています。道産カラマツによる製材を相欠き格子組みとする面格子壁は、粘り強い耐震性能をもちます。

線織面

しんしのつ産直市場 製材合わせ梁によるコノイド曲面



市場流通製材の合わせ梁により6mスパンのコノイド曲面屋根をローコストで実現しています。コノイド曲面は線材をずらして形成する線織面であり、簡易な施工で空間にやわらかでリズムカルな変化をもたらします。